

戊辰戦役に於ける

平城戦闘經過 (五)

陸軍歩兵中尉 花澤文庫

忽ちにして敵は刻々増加し衆かてきせず我軍退却の色あり仙臺藩參謀古田某刀を揮つて之をよへ止するも及ばず向新町高坂村水田より續々退却を開始し尼子橋右側藥王寺臺大館の丘に據るてきは漸次尼子橋に迫る我軍は高丘叢林中より地物を利用して眼下にてきを射撃し大小の砲銃えんくとして天にちうす我軍は地の利と援兵を得て士氣どみに挽回し接戦大いに努む午後五時に至りてきは後退の色あり日暮るるに及んで彼我の銃砲聲全く止む

兵船二隻を以て中ノ作へ上雲したる仙臺藩の我増援隊へ平はんの砲手と協力して本期來小名濱恢復攻撃を開始したるも奏効せず支離滅裂に終り又收容する能はず

明治元年七月朔日

拂曉部署に就かんとして城坂門を下る時驟者より情報ありては軍治山を経て直に谷川瀬に出て城の南側に迫る如しと依て之に備へんか爲め新川町以北市街の裏通りより東は町分西は長橋町の間互に銃手を配置す間もなく

丸昇軒

電話四三九

色あり突如新川町に火災起り黒炎天を焦しこの機を利用しててきは將に城に迫らんとす依て城中に増加隊を求むるを銃手なし窮餘の策城中に令してからごきを舉げしめ城外

平看護婦會

平町南町

の多數も之に應じその聲四方轟き城中尙多數の兵數あるも思はしむ而かも新川町の猛火は益々延焼し危機迫る

体温計 寒暖計 電話四〇番

りな命生の(丸)は捷敏實確
屋問物金 鐵銅洋和
店理代約特社會式株トンメセ城磐

店商久屋釜

番九三九 電話一〇五平
しな略商る勝に賣廉品良

◆現代醫藥界の驚異
飲まずに治るコリサ浸透療法
肺、ロクマク、腹膜炎、リウマチス、神經痛治療藥
外用 コリサ

◎論より證據百聞一見に不如
醫學博士：内野先生實驗 醫師：吉松先生發見
定價 金四拾五錢、金九拾錢 送料(内地十二錢、特大瓶醫家用：二圓七十錢 海外四十五錢)

持約店 大平屋藥舖
電話六四二番
回實感希望者は郵券廿錢封入左記本舖へ申込められ試用藥と浸透療法の小冊子を郵送す
大阪市此花區吉野町一丁目 吉松醫院製劑部

女給さん 三名入用
急告
十七歳より廿三歳まで素人にて
差支へありません
料理 西洋ボクタン
平町南町 電話八五四番

氣管食道科 專門
耳鼻咽喉科
平町南町
大和田醫院
電話一七〇番
入院隨意 (自炊の便あり)

高級車で乘心地の好い
昭和タクシーへ
平 驛前
電話は 三四三番
サシミ

新田町
あわもち
だんご
萩の餅
店子菓餅野染

舊正月元日より有効
有聲座割引券あり
平白銀町カド
丸山雜貨店

▲職工募集▼
一、家具指物職人 五名
但し相當經驗ヲ有シ永勤出來得ル者詳細面談ス
平町三丁目
丸はん家具店
電話三五九番

平町新田前
丸はん家具製作所
電話七二三番

メリヤスシャツ
一枚……一圓八十錢
ワイシャツ
一枚……一圓八十錢
学生服 作業服

帽子靴下足袋
ワイシャツ
ネクタイ
靴

平町五丁目
モリタヤ洋品店
電話三五三番

議會解散總選舉!!!
時事問題ニ直面シタ國家的知識ヲ得ン事希望スル
國際寫真情報 世界畫報
歷史 寫真 演藝と映畫
映畫情報 婦人美容雜誌
永年御同情御引立ノ我畫報日一日ト講讀者増員
今ヤ一萬ヲ突破シ誠ニ感謝ノ至リニ堪マセン
平町南町二八
國際時報社常磐支局
澤田武一
面談ハ午前十時前

喫茶の店
パーラークララ
洋菓子店
平 藤遠
店 番六七話電